

---

## 「頭頸部がんにおける側頭筋厚の予後因子としての意義」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの電子カルテの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2013年4月1日から2021年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センター頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科を初診し、頭頸部がんと診断され治療を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

CT や MRI で簡便に測定できる「側頭筋の厚み」が、頭頸部がんの予後予測の指標となりうるかを調べます。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

電子カルテから、「側頭筋の厚み」と生存期間を調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である松村聡子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 松村聡子（研究代表者）

#### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 松村聡子（研究代表者）

##### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 松村聡子（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：頭頸部がんにおける側頭筋厚の予後因子としての意義

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 松村聡子